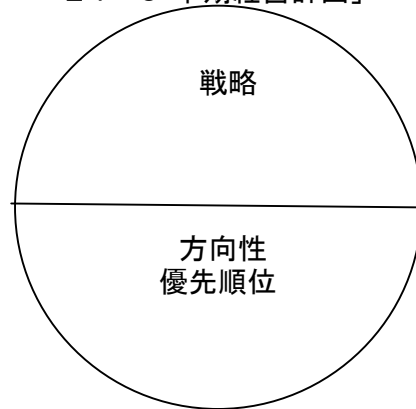


「事業存続発展計画書」の体系と四大構造

I「経営理念」



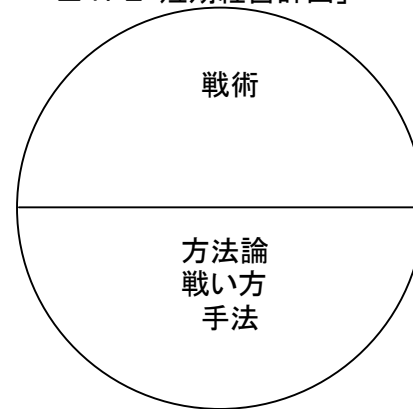
II 1~6「中期経営計画」



(中長期的・全体的・理念的)

- ・環境・状況(時代の流れ)
- ・事業形態(受注型と見込型)
- ・企業発展の哲理(成長拡大と安定)
- ・中長期的5年~10年

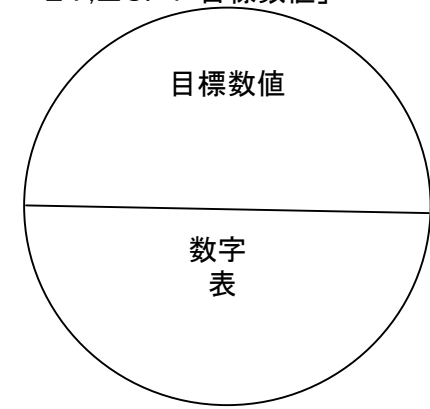
III 1. 2「短期経営計画」



(短期的・局部的・テクニクの)

- ・営業力、販売力
- ・商品開発力、企画力
- ・財務力、管理力
- ・短期的1年~3年

II 7, III 3. 4「目標数値」



- ・PQ
- ・MQ
- ・G
- ・人員
- ・ヒト/MQ
- ・F/MQ

II 5「経営ビジョン」未来像

1. どんな事業(戦略・戦術)
2. どのくらいの規模(売上・利益・人員)
3. 社員の処遇(給料・待遇)

* 仕事と責任

	社長	職員
仕事	決定	実施
責任	利益	実行

社長の仕事は、決定すること。利益に責任を負う。
 職員の仕事は、方針に基づき実施すること。

* 戦略とは、方向性と優先順位。

トップのみが決定できる。
 戦略が正しいと、利益は必然的に出る。
 戦略が違っていれば、なんぼ頑張っても×

* 戦術とは、方法、戦い方。

全職員が能力を出し合って、頭を使って考え出す。
 戦術レベルで全員参加型経営にする。

* 目標とは、夢に日付と数値を入れること。

人間は、目標があるとそれに向かって努力する不思議な動物である。
 戦術がうまく言っているかどうかは、目標と実績とをチェックすることで検証する。~管理という。